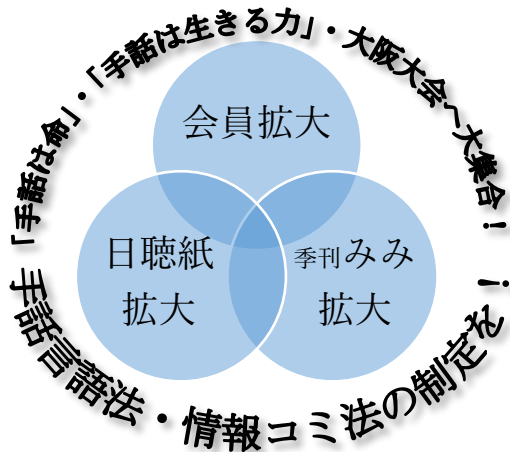


組織委員会ニュース

平成29年度 6号
(通算234号)
(2018年3月14日発行)



本ニュースは、当連盟加盟団体の事務局と各ブロック事務局に電子メールにてお送りしています。貴加盟団体・地区協会役員へご普及していただきますようお願いいたします。

[発行責任者] 一般財団法人全日本ろうあ連盟
組織委員会委員長 小出真一郎
FAX 03 (3267) 3445

何とか会員2万人台に回復を!!

2018年2月末現在の分担金納入状況は18,928名です。前年度に比べて441名の減少となり、20,000名台への復帰はおろか、昨年度よりさらに会員の減少の見込みで、危機的な状況となっています。昨年度より会員数を減らしている協会におかれましては、あきらめずに地道に新規会員の拡大、会員の継続への取り組みをお願いいたします。

また、協会で預かっている分担金がありましたら、至急、連盟本部事務所までご報告ください。

2018年2月末の納入状況

(※本部事務所に報告いただいている人数です)

	2016年度	2018年2月末現在	増減	前年度比率		2016年度	2018年2月末現在	増減	前年度比率
北海道	1,213	1,171	-42	96.5%	滋賀	368	366	-2	99.5%
青森	296	290	-6	98.0%	京都	632	625	-7	98.9%
岩手	170	160	-10	94.1%	大阪	1,342	1,311	-31	97.7%
宮城	250	250	0	100.0%	兵庫	763	765	2	100.3%
秋田	141	141	0	100.0%	奈良	274	241	-33	88.0%
山形	200	193	-7	96.5%	和歌山	274	270	-4	98.5%
福島	420	420	0	100.0%	鳥取	200	200	0	100.0%
茨城	300	306	6	102.0%	島根	100	100	0	100.0%
栃木	393	355	-38	90.3%	岡山	282	282	0	100.0%
群馬	481	483	2	100.4%	広島	630	600	-30	95.2%
埼玉	1,010	1,013	3	100.3%	山口	154	161	7	104.5%
千葉	483	419	-64	86.7%	徳島	93	85	-8	91.4%
東京	1,267	1,233	-34	97.3%	香川	199	191	-8	96.0%
神奈川	876	866	-10	98.9%	愛媛	201	204	3	101.5%
山梨	157	124	-33	79.0%	高知	184	170	-14	92.4%
新潟	273	267	-6	97.8%	福岡	911	891	-20	97.8%

長野	321	306	-15	95.3%	佐賀	100	102	2	102.0%
富山	280	270	-10	96.4%	長崎	325	325	0	100.0%
石川	335	330	-5	98.5%	熊本	363	363	0	100.0%
福井	130	130	0	100.0%	大分	356	346	-10	97.2%
岐阜	363	350	-13	96.4%	宮崎	210	208	-2	99.0%
静岡	589	562	-27	95.4%	鹿児島	190	190	0	100.0%
愛知	859	880	21	102.4%	沖縄	103	103	0	100.0%
三重	308	310	2	100.6%	合計	19,369	18,928	-441	97.7%

日聴紙 新規とともに再購読の確認も!

日聴紙は、2017年度(4/1～2/28)増減累計で464部減少しています。目標23,000部に対して12,889部、達成率56%と、強化期間が始まってからも伸びていません。2018年6月8日(金)の全国ろうあ者大会 in 大阪までの日聴紙読者拡大強化期間中です。一人でも多くの方に購読いただけるよう、皆様の更なる読者拡大へのご協力をよろしく申し上げます。

加盟団体におかれましては、年度替わりで購読切れしてしまった人への再購読の確認をお願いします。これから年度替わりとなり、ろう学校を卒業したろう青年への購読の働きかけや新しく手話を受講する人も増えますので、副教材として積極的に日聴紙の購読を勧めてください。

2018年2月末の日聴紙読者現勢

2018年2月28日現在

	目標数	2015年 3月31日	2016年 3月31日	2017年 3月31日	2017年 福岡大会	2018年 2月28日	2017年度 増減累計
北海道	997	538	525	612	620	573	-39
北海ブ	997	538	525	612	620	573	-39
青森	251	199	187	167	162	158	-9
岩手	243	98	97	122	117	109	-13
宮城	421	130	122	129	131	124	-5
秋田	199	82	83	80	76	77	-3
山形	214	114	108	98	96	94	-4
福島	369	305	316	323	318	299	-24
東北ブ	1,697	928	913	919	900	861	-58
茨城	534	134	140	154	145	138	-16
栃木	362	140	133	154	147	139	-15
群馬	362	212	249	229	227	215	-14
埼玉	1,283	489	526	529	535	538	9
千葉	1,105	665	670	671	691	680	9
東京	2,319	1,439	1,422	1,489	1,472	1,431	-58
神奈川	1,610	580	554	545	539	525	-20
山梨	157	100	85	89	92	82	-7
関東ブ	7,732	3,759	3,779	3,860	3,848	3,748	-112
新潟	431	173	159	163	166	155	-8
長野	391	199	194	182	182	182	0
富山	198	142	152	139	149	130	-9

石川	210	422	390	358	426	368	10
福井	146	136	192	211	227	247	36
北信ブ	1,376	1,072	1,087	1,053	1,150	1,082	29
岐阜	377	185	172	164	159	165	1
静岡	683	573	550	546	540	511	-35
愛知	1,330	618	600	601	589	556	-45
三重	336	273	330	289	337	273	-16
東海ブ	2,726	1,649	1,652	1,600	1,625	1,505	-95
滋賀	252	164	153	145	145	140	-5
京都	474	433	474	453	472	443	-10
大阪	1,588	1,309	1,209	1,268	1,424	1,164	-104
兵庫	1,006	465	468	550	561	514	-36
奈良	253	226	226	241	246	233	-8
和歌山	182	102	90	85	85	86	1
近畿ブ	3,755	2,699	2,620	2,742	2,933	2,580	-162
鳥取	107	157	157	156	166	165	9
島根	130	120	111	117	118	119	2
岡山	351	133	139	132	133	137	5
広島	516	277	273	257	264	263	6
山口	263	110	109	108	106	102	-6
中国ブ	1,367	797	789	770	787	786	16
徳島	143	38	36	34	34	31	-3
香川	180	85	84	78	79	75	-3
愛媛	260	68	66	69	70	69	0
高知	139	68	62	58	60	59	1
四国ブ	722	259	248	239	243	234	-5
福岡	910	523	486	554	541	496	-58
佐賀	154	58	59	58	60	56	-2
長崎	259	219	193	219	215	188	-31
熊本	328	289	275	302	373	325	23
大分	216	106	92	84	82	75	-9
宮崎	204	157	139	150	184	169	19
鹿児島	309	127	128	118	126	136	18
沖縄	248	74	74	73	77	75	2
九州ブ	2,628	1,553	1,446	1,558	1,658	1,520	-38
合計	23,000	13,254	13,059	13,353	13,764	12,889	-464

第1回三専門部合同活動者研修会 開催



日 時：2018年2月11日～12日

場 所：東京都江東区 東京スポーツ文化館（BumB）

三専門部合同での初の研修会を開催し、高齢部から10名、女性部から20名、青年部から41名、組織委員から2名、講師1名の74名の参加がありました。

1日目は情報・コミュニケーション委員会の小椋委員長の「障害者差別解消法の合理的配慮について」講演の後、参加者と対話しながら合理的配慮について考えました。その後、2日間にわたり、「若者たちの現状と課題」、「女性役員を増やすためには」、「高齢者たちの現状と課題」、「会員拡大のために」の4つのテーマに分かれてグループ討議を行い、世代を超えて各分野について議論を交わしました。その後、各グループから報告が行われました。

「青年部を卒業した後の会員の活動の場が少ない」、「女性がもっと活動しやすい環境作りが必要」、「専門部同士で合同の企画をもっと増やした方が良い」、「地元協会でも理事・役員との会員のパイをもっと深くするべき」、「手話通訳制度について若者を含めてもう一度周知した方が良い（男性の手話通訳者を増やして欲しい）」、「青年部、高齢部、女性部と一緒に交流できる企画の実施や、グッズ（ろうあ運動の歴史カルタ）の作成・販売をしてはどうか」、「電話リレーサービスなど、連盟が推進している事業の情報発信をしていく必要がある」等、様々な意見が出されました。参加者からは、日頃意見を交わすことのない違う世代の意見を聞いて良かったという声が多く聞かれました。

今後も同様の研修会で「ろう運動の歴史」を知ってもらい、各専門部同士の情報交換ができるような企画を検討します。

第2回ブロック代表者会議報告

2018年1月27日（土）に国立オリンピック記念青少年総合センターで2017年度第2回ブロック代表者会議が開催され、小出組織委員長・廣田青年部長・長谷川東日本担当組織委員と東北1名・関東1名・北信越1名・東海1名・近畿1名・九州1名の9名が参加しました。内容は下記の通りです。

【会員拡大状況について】

・会員減少が止まらない。アンケートの結果、夫婦会員の片方の退会、スポーツ選手の現役引退

後の大会という問題が明らかになっているが、情報交換をしたい。

- ・若年層はろう学校卒業では人が多いので、会員になるという自覚がない。そういう人にどう呼びかけるかが課題。
- ・ろう学校とのパイプも薄くなってきているので、成人を祝う会などでろう学校卒業生と結びつきを強める必要がある。
- ・ろう学校は個人情報の問題で情報提供を拒むケースも増えてきている。
- ・企業の業績が悪く、経済的に苦しく会費を払えないこともある。
- ・組織担当の動きが弱い。「会員拡大」という意識があまりない役員が増えている。
- ・ここ数年新規会員より、死亡等で退会する会員の方が多い。会員が減ると財政的にも苦しい。若い人へのアプローチの1つとしてスポーツ関係で興味を持ってもらうようにしている。ただ、それだけで終わるのではなく、青年部や運動の意義の説明が必要。
- ・自分の地域では学生は会費を（特別に）免除している。学生も16歳から関わりを持つようにし、青年部に繋げている。
- ・スポーツ選手の引退後の問題は、例えば審判の資格を持ってもらって引き続き体育関係で協会との関わりを続けてもらうようにしている。
- ・青年層に強く勧誘し過ぎると辞めてしまう人がいるので、共に考えていく姿勢が必要。
- ・会員証のメリットが見えない。全国手話研修センターの値引きしか知らないのも、その他のメリットを検討する必要があるのではないかと。以前旅行の割引もやっていたが、申込は少なかった。目に見えるメリットがあれば効果はあると思う。
- ・会員になることでの（会員への）メリットについては今後も検討する。

【日聴紙・みみ読者数の現況、今後に向けて】

- ・今年度初めて「季刊みみ」について表彰した。予算の都合でカットした協会があるので、来年度については「日聴紙」「季刊みみ」について、目標を達成した協会は全て表彰する方向で行きたい。
- ・第2種免許（バス運転手）の話は明るい話題で良い。
- ・目標数が人口比になっているが、人口の多い協会は目標が高く苦しい。
- ・『70年史』『日聴紙』『季刊みみ』『道』を掲載したポスターを加盟団体に配布する予定なので活用してほしい。

【手話言語法制定及び手話言語条例制定の動きについて】

- ・会員が少なくても条例が成立したところもある。条例制定後はろうあ協会の紹介パンフを置いたり、合理的配慮に関係して筆談ボードを置いたところも。
- ・条例内に「ろう者」ではなく「聴覚障害者」と書いてあるところもあるので、注意が必要。
- ・「手話言語条例」「情報・コミュニケーション条例」の意義が混乱するのが心配。
- ・「情報・コミュニケーション条例」は難聴者や盲ろう者も関係する。連盟として単独でできるのが「手話言語条例」なのでそこで進めている。2種類の条例の役割の明確化は必要。
- ・都道府県では2つの条例はしっかり分ける。市町村レベルでは「手話言語条例」「情報・コミュニケーション条例」の2つの性格を併せ持った条例でも良いという話をした。基本は手話言語の普及ではあるが、情報アクセス環境が手話言語の普及を支えることもある。
- ・言語条例制定後の効果について、改善例などを情報交換するべき。市民への啓発活動や設置通訳など。条例が始まったのは良いが、非常勤での設置募集も見受けられる。
- ・「情報・コミュニケーション法」を求める意見書はまだ少ないが、その取り組みも他団体と調整をしながら進めていきたい。

【その他】

- ・(2018年度第1回ブロック代表者会議の日程について) 2017年度は記念大会だったのでイレギュラーな日程だったが、2018年度の第1回代表者会議は全国ろうあ者大会開催期間中(大阪・6月8日(金))で予定している。
- ・行事がある場合は早めに通知してほしい。地元の行事や研修会と重なってしまい、参加者が集まらなくなる。